

## 「竜王山の植物保全とふれあいを通じた自然体験」

- ☆ 日 時： 平成22年6月28日（月） 9：00～11：00
- ☆ 場 所： 竜王山
- ☆ 参加者： 81人（こども38人・大人43人）
- ☆ 主 催： 本山会

### 1 スケジュール

- 9：00～ 開会行事
- 9：10～11：00 保全活動（サワヒヨドリの植付け）

### 2 活動内容

竜王山に自生するサワヒヨドリ（花）の種を採取し、育てた苗約3,000本を、本山小学校みどりの少年隊や地域の方等の参加者と竜王山に植えました。

#### 【開会行事】



本山小学校教頭先生から、「自分たちのふるさとが自慢できる。自分たちのふるさとを自分たちの手で作る活動です。」とあいさつがありました。



本山会代表からは、「夢とふるさと。サワヒヨドリが大きく育つようにとの思いで植栽をします。」とあいさつがありました。



本山会の嶋田氏が、「竜王山にはアサギマダラという旅するチョウが約100頭飛来して来る。チョウが好んで蜜を吸う花・サワヒヨドリ（キク科）を植栽し、もっと多くのチョウが飛来するよう期待する。苗は、竜王山から採取した種を育てたもの」と説明された。

また、みどりの少年隊担当教諭が、児童がこの地に残したいものは「自然」と「ふれあい」と参加児童の思いを話された。



植栽の仕方の説明

## 【活動内容】



植栽場所で児童代表の「山口県といえばアサギマダラと言えるように一緒に頑張らしましょう」のあいさつで作業開始。



等間隔で植えられるように印がついたひもをガイドに植栽をしていく。子ども達が手際よく植えられるように大人がポットの苗をはずす姿や並んで話をしながら植栽をする姿も見られました。

植栽終了後、校長、児童代表のあいさつがありました。代表児童は秋にアサギマダラが沢山くるように願いながら活動をしたと話し、植栽活動を終了しました。

植栽終了後、本山地域の方が、あやまって苗が踏みつけられないように周りに杭を打ちロープをはり保護作業を終了しました。

これから苗を管理していく本山会の会員のひとは、「今回の植栽事業が子ども達の心に残り、ふるさと（ふるさとの自然）を愛する心が育てばこの上ないことです」別の方は「自分たちで植えたものは愛着もあるはず。花の様子やアサギマダラに関心がいくと思う」と感想を述べられました。

